

**事業実施の目的** 特色の違う町内7つの園で、様々な体験や遊びを通して学んだ子どもたちが、その学びを小学校でさらに飛躍させ、子どもたちらしく生きていける教育環境を目指す。

**事業内容・成果** (R4年度)

**1. 主な取組内容について**

**【架け橋期のカリキュラム開発会議】**  
 開発会議のメンバー：小学校長、1年担任、関係3園の園長、学識経験者、コーディネーター  
 年3回開催し、保小の教職員同士の対話を通して、相互理解を深めると共に、その中から出てきた共通の思いに基づいて、架け橋プログラム作成に向けてのテーマ設定（対話・協働・探究）を行った。また、次年度から始まる実践に向けて、共通の指標を持って成長を見ていくこととした。

**【架け橋期のカリキュラム】**  
 令和5年度から、学校や保育園で行う普段の生活や学習の中で取り組む実践と、共同実践をテーマに沿って実施していく中で、園や学校の課題や共通指標を踏まえ、随時話し合いながら、実践内容を決定する。その実践内容やその際の気づきなどについて記録し、カリキュラムに落とし込む。

**【園・小学校における体制】**  
 学校、園にそれぞれ関わっているコーディネーターによる伴走体制をとり、普段の子どもの様子や大人の関わり方についての記録をまとめる。また、これまでと同程度の頻度で開催する開発会議とは別に、学校と保育園の関係者で話し合う場を月1回程度実施し、個別実践についての振り返りや共同実践の計画について検討を行う。

**【自治体における体制】**  
 小学校を管轄する教育委員会と保育園を管轄する健康福祉課で連携を行いながら実施する。また、これまでに教育委員会に配置されている指導主事は1名であり増員は難しいが、学校への指導・助言を行う体制をとっている。また、コーディネーターを以前より小学校側に1名、保育園側に1名配置しているので、それぞれの関わりの中で伴走しながら支援を行う。

**2. 主な成果について**  
 保小の先生方の関係性が出来たことにより、思いを共有して進めようという機運が高まっている。また、お互いの都合や環境に合わせるという事ではなく、お互いのできる範囲で歩み寄って考えるという意識になっている。学校においては、架け橋カリキュラムを入学から2ヶ月程度といった短い捉えではなく、ある程度長いスパンで見ているという考え方になっており、小学校の1年担任だけではなく、学校全体で、共有することが大切であるという意識になってきている。

**事業実施地域・協力園校** (R4年度)

**【実施地域】** 津和野町日原地域

**【協力園校】**  
 保：公立：青原保育園(認可保育所)  
 私立：日原保育園(認可保育所)、山のこども園うしのしっぽ(地方裁量型認定こども園)  
 小：公立小学校1校(日原小学校)

**今後の目標** (R5年度)

令和4年度では、学校と園が共に大切にしていることを話す中から共通のテーマを決定することが出来たが、具体的実践を行う際に、共通の言葉で検証ができるように、共通の指標作成を行うこととなったが、現段階で案の作成に留まっている。この指標を早急に作成し、それを基に実践の効果を検証していく必要がある。また、この指標に基づいて、課題整理を行い、実践の内容に落とし込んでいく。

津和野町では、現時点でカリキュラム（案）が出来ていません。その理由については以下のとおりです。

○当初から、「学校と保育園の双方の想いを大切にし、双方の想いや世界の流れといった所からカリキュラムは最終的にできるもの」という捉え方で進めている。

○この捉え方に基づき、1年目は、双方の想いから特に意識したい共通項を抽出した。これに基づき、現在指標づくりに取り組んでいる。（指標案参照）

○2年目については、保育園と学校の共通指標に基づいて、実践をすすめながら、カリキュラムに落とし込んでいく考え。

〈指標案〉

架け橋期における子どもの成長に関する指標（案）						
津和野町が掲げる3つの力	対話する力		行動・想像する力		課題を見抜く力	
架け橋の3つのテーマ	対話		協働		探究	
幼児期育ってほしい10の姿	言葉による伝え合い	道徳性・規範意識の芽生え 自立心	協同性 豊かな感性と表現	社会生活との関わり	思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの 関心・感覚 健康な心と体
6C's	コミュニケーション	コンフィデンス（自信）	コラボレーション	クリエイティブイノベーション	クリティカルシンキング	コンテンツ（知識）
学習指導要領	人間性	学びに向かう力	表現力	判断力	思考力	知識および技能
レベルではなく、どれが 先でどれが後でなければ ならないという順序 はない。	なぜ、自分がそれをしているのかを説明 できる	クラスメートの前に立つ	ほかの人たちと分け合う	何か新しいことや新しい論拠を思いつく	ネットワーキング	一定の期間がどのように進んでいかを 言える
	自分で教材を取り出し片付けするこ とができる	自然で自分らしく行動する	ほかの人に考える時間を与える	常に問いかけ続ける	イニシアチブをとる	自分が何をしなければならないかと言 える
	自分のことを大切に、集団のことも大 切にできる	周囲とのコンタクトを取る	ほかの人の立場に立ってみる	何か替わりのアイデアを思いつく	探究する	何かあることをするためにどれぐらい時 間が必要かを推計できる
	自分で誰かに説明を求めることができ る	ジェスチャーを使う	説明に従ったり・与えたりする	困難があっても諦めずに努力しやり遂げ る	才能をつかう	物事を手際よい順序でやれる
	自分が今夢中になっていることについ てクラスの仲間説明できる	はっきりした言葉と声を使う	ほかの人を助ける	自分自身のベストを尽くせる	志を高く持つ	自分自身の学習目標を設定できる
	なぜ、私たちはこのようなルールをも っているのか、説明できる	自分の考えをうまく言葉で表す	人からの助けを受け取る	容易にほかの発想に切り替えられる	目的意識をもって考える	1日の計画や1週間の計画を立てる ことができる
	なぜ、あることをやらなかったのかの理 由を説明できる	自分の発表やプレゼンテーションをよ く考えてうまく行える	約束を守る	ほかの人のアイデアに柔軟に合わせられ る	情報を探す	計画を、手遅れにならないうちに修正 できる